

Kanadevia

Technology for people and planet

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援とご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
ここに「第129期中間報告書」をお届けいたします。

本年10月、当社はカナデビアとして1周年を迎えました。この1年、TVCMやYouTube動画などを通じてブランディング活動を行ってまいりました。認知度の向上や採用活動における応募者数の増加など、これらの取り組みの効果が着実に現れてきております。

一方で、昨年度発覚した船用エンジン事業など複数の事業、製品における不適切行為につきまして、皆様に多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを改めて深くお詫び申し上げます。引き続き再発防止対策に尽力するとともに、改めて新社名カナデビアに込めた想い、当社グループの基本理念であるKanadevia Valueを見つめ直し、組織風土・意識改革を進めてまいります。

さて、本年度は、中期経営計画「Forward 25」の最終年度です。「既存事業の持続的成長」、「成長事業の創出・拡大」、「持続可能な経営の推進」の基本方針のもと、海外事業の拡大、事業ポートフォリオ・マネジメントの推進、その基盤となる人的資本の強化、風土改革に取り組んでまいりました。本年10月には、経営戦略と連動した人的資本経営を行うために、業務管理本部をピープル&カルチャー本部に改称し、配下の人事部の体制を見直す組織改正を行いました。

業績に関しまして、当中間期において、環境および機械・インフラの悪化により通期見通しの下方修正を行いました。株主の皆様の期待に沿えず誠に申し訳ございません。一日も早く業績回復をお知らせできるよう役職員一同全力を尽くしてまいります。

また、当社は株価指数「JPX日経インデックス400」および「JPX日経インデックス人的資本100」の構成銘柄として、本年8月に初めて選定されました。今後も、さらなる企業価値の向上とグローバル企業としてのカナデビアグループの成長を目指し、株主の皆様の期待に応えるべく、邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



取締役社長兼CEO

桑原 道

大阪・関西万博 当社展示プレイスに約15万人の方がご来場



当社展示プレイス
来場者10万人達成記念イベント

本年10月に閉幕した2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)では、「未来の都市」パビリオンに、約190万人の方々のご来場され、当社展示プレイスでは約15万人の方に、ごみからエネルギーを創る体験をしていただきました。さらに、日本館では当社が設計・施工したバイオガス発電プラントで、万博会場内で出た生ごみを原料に発電し、プラントツアーを協賛するなど、持続可能な社会の実現に向けた取り組みについてご好評をいただき、当社をPRする良い機会となりました。

財務ハイライト(連結)

当中間期の決算状況について

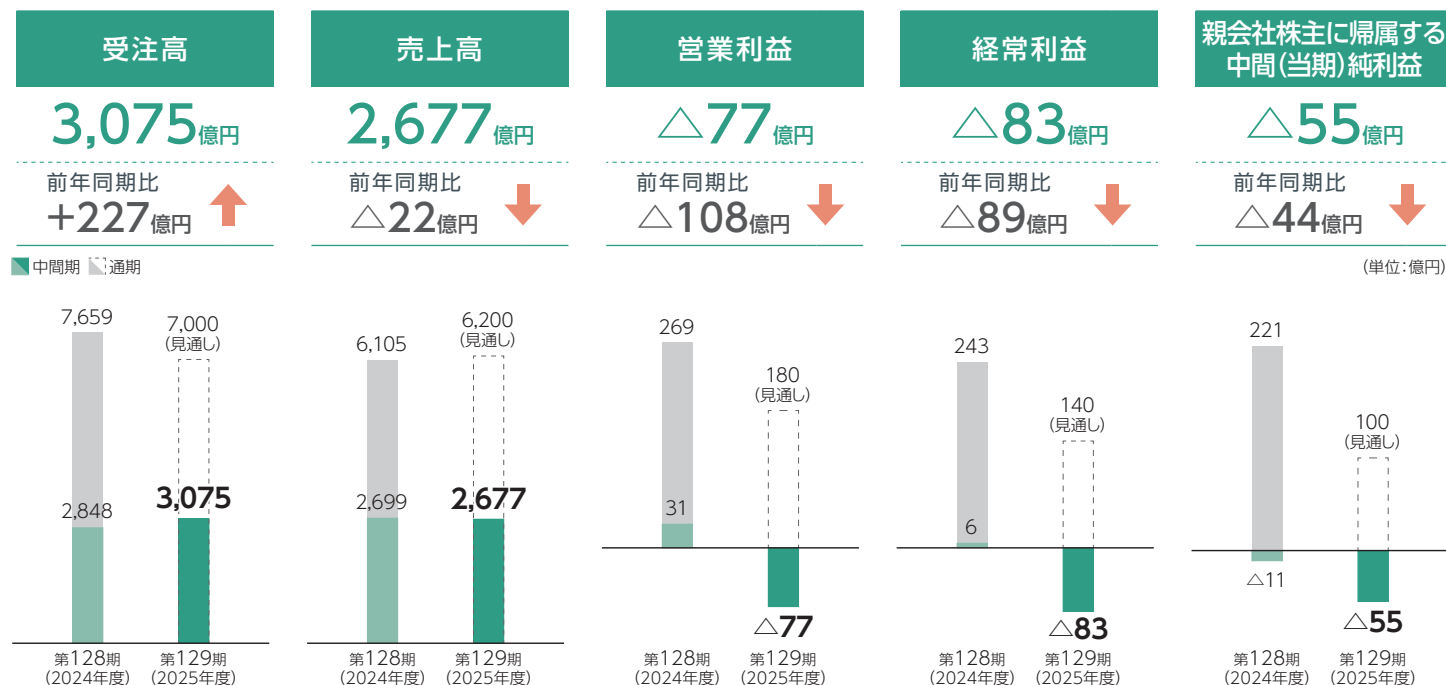
当中間期の経済情勢は、雇用・所得環境の改善や各種政策により緩やかに回復しましたが、米国の通商政策、継続する物価上昇、金融資本市場の変動等の影響により、依然として先行きは不透明な状況で推移しました。

こうした中、当社グループの中間期の連結業績は前年同期と比較し、受注高は脱炭素化部門の増加により3,075億円、売上高は主に機械・インフラ部門の減少により2,677億円となりました。また、営業利益は環境部門の悪化により△77億円、これに伴い、経常利益は△83億円、親会社株主に帰属する中間純利益は△55億円となりました。なお、当期の中間配当については実施を見送らせていただきます。

通期の業績見通しについては、環境部門および機械・インフラ部門におけるコストアップおよびトラブルによる悪化を見込み、11月6日付で以下見通しへ利益を下方修正しました。期末配当予想に変更はありません。

なお、当社グループの事業構造上、収益は下半期に多く計上されます。

中間期業績



通期業績見通し



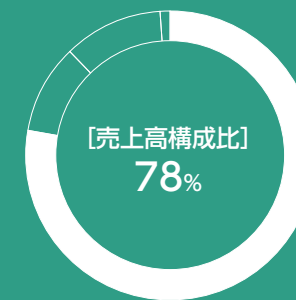
詳しい決算情報については、
コーポレートサイト「IR情報」をご覧ください。

<https://www.kanadevia.com/ir/>



部門別の事業概況

環境部門



受注高	2,331億円	前年同期比 +32億円
売上高	2,080億円	前年同期比 +85億円
営業利益	△27億円	前年同期比 △82億円



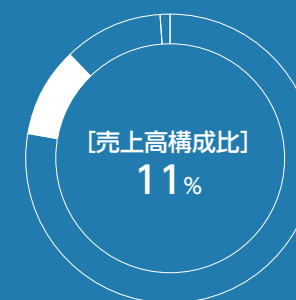
英国スコットランド向けごみ焼却発電施設

受注高は、前年同期から増加し2,331億円となりました。国内では4件のごみ焼却発電施設の基幹的設備改良工事、富山地区広域圏事務組合、酒田地区広域行政組合、佐賀市、松本市向け水処理施設建設工事、海外では英国初のごみ焼却発電施設でのCO₂回収施設の建設工事等を受注しました。

売上高は、成田市向け、みよし広域連合向け水処理施設の完工、海外での英国向けごみ焼却発電施設等の完工、海外子会社のM&Aによる増収等により前年同期から増加し、2,080億円となりました。

営業利益は、高採算案件の減少およびコストアップの影響等により、前年同期より減少し△27億円となりました。

機械・インフラ部門



受注高	411億円	前年同期比 △2億円
売上高	285億円	前年同期比 △62億円
営業利益	△24億円	前年同期比 △11億円



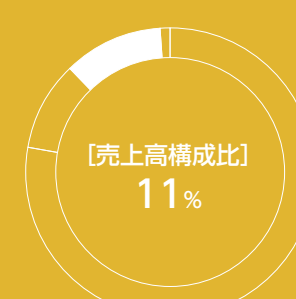
栗東水口道路上砥山高架橋鋼上部工事

受注高は、水門工事等や大型放射光施設「SPring-8-II」向け蓄積リング用真空機器等を受注したものの、前年同期から減少し411億円となりました。

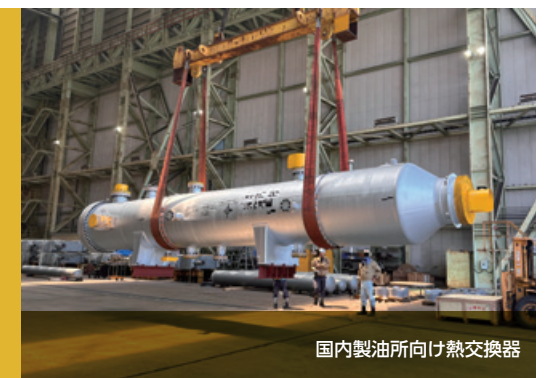
売上高は、精密機械が増加したほか、国土交通省近畿地方整備局向け栗東水口道路上砥山高架橋鋼上部工事、すさみ串本道路釜郷原川橋上部工事等が完工したものの、プレス事業の売却等により、前年同期から減少し285億円となりました。

営業利益も、トラブルによるインフラの収益悪化等により、前年同期から減少し△24億円となりました。

脱炭素化部門



受注高	318億円	前年同期比 +197億円
売上高	296億円	前年同期比 △43億円
営業利益	△29億円	前年同期比 △16億円



国内製油所向け熱交換器

受注高は、国内造船所向け船用エンジンの受注等により、前年同期から増加し318億円となりました。

売上高は、国内製油所向け熱交換器が完工したものの、海外子会社における原子力事業の受注時期遅れ等に伴う減収により、前年同期から減少し296億円となりました。

営業利益も、海外子会社の原子力機器を主因として、前年同期から減少し△29億円となりました。

※その他部門では、受注高15億円、売上高16億円、営業利益3億円となりました。

会社の概要

(2025年9月30日現在)

創業	業	1881年4月1日
資本金		45,442,365,005円
従業員数		4,049名(連結 12,727名)

株式の状況

(2025年9月30日現在)

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	170,214,843株
株主数	68,301名
単元株式数	100株
大株主	

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	29,854	17.7
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	9,341	5.5
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505301	6,364	3.8
株式会社三菱UFJ銀行	5,291	3.1
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	4,542	2.7
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042	4,192	2.5
HSBC BANK PLC A/C M AND G (ACS) VALUE PARTNERS CHINA EQUITY FUND	3,957	2.3
JP MORGAN CHASE BANK 385632	3,166	1.9
カナデビア職員持株会	2,672	1.6
損害保険ジャパン株式会社	2,358	1.4

(注)持株比率は自己株式数を控除して算出しております。

コーポレートサイトのご案内

<https://www.kanadevia.com/>



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
公告方法 電子公告 (<https://www.kanadevia.com/>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって
電子公告による公告をすることができない場合
は、産経新聞に掲載します。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関
同連絡先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777(通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所

●株式に関する各種手続きについて

住所変更、単元未満株式の買取・買増請求等のお手続きについては、株主様が口座を開設されている証券会社等にお申出ください。
なお、証券会社等に口座を開設されていないため特別口座に株式が記録されている株主様は、特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社の上記連絡先にお問合せください。

●マイナンバーに関するご案内

株式等の税務関係の手続きに関しては、マイナンバーのお届出が必要です。お届出が済んでいない株主様は、口座を開設されている証券会社等へマイナンバーのお届出をお願いします。

統合報告書2025

当社では、ステークホルダーの皆様へ、当社グループの長期ビジョン実現に向けた価値創造の取り組みをご理解いただけるよう、経営計画や財務情報、ESG情報等を記載した統合報告書を発行しています。当社コーポレートサイトに掲載していますのでご覧ください。



YouTubeチャンネルのご案内

動画投稿サイトYouTubeに[Kanadevia Group Channel]を開設し、事業や歴史等の紹介を行っています。

現在放映中のCMもこちらでご覧いただけます。



IRメール 配信のご案内

IR関連情報やニュースリリース等をメールでお届けしています。

配信をご希望の方は、下記サイトから三菱UFJ信託銀行株式会社が運営するIRメール配信サービス「RIMSNET(リムズネット)」にご登録(無料)ください。

<https://rims.tr.mufig.jp/?sn=7004>

